

News Clip & AV Material

◆ ニュースクリップ&映像教材



■第39回「日本賞」グランプリ決定

NHKでは、教育コンテンツの国際コンクールとして、教育効果をもっとも高く、教育放送の発展に寄与するコンテンツに贈られるグランプリ日本賞を、平成24年10月25日（木）に決定し、授賞式を行った。世界の60か国と地域208機関より、335作品の応募があった。グランプリ日本賞の栄に輝いたのは「皺（しわ）」（スペイン）。詳細については、http://www.nhk.or.jp/jp-prize/index_j.htmlを参照のこと。

AV情報

■ パナソニック教育財団「第39回実践研究助成」募集開始

（公財）パナソニック教育財団では、ICTを効果的に活用し、教育課題の改善に取り組む実践的な研究計画を助成し、その助成先を募集する。

〈内容〉 ○一般（1年間助成）研究テーマは、自由。○特別研究指定校（2年間助成）には、学校が抱える普遍的なテーマについて、モデル的に取り組む学校を募集。

〈応募資格〉 一般は、小・中・高等学校、特別支援学校、教育研究グループ、教育センター、教育研究所（在外教育施設を含む）。特別研究指定校は、小・中・高等学校、特別支援学校（在外教育施設を除く）を対象とする。

〈助成内容〉 ○一般 50万円×70～80件程度。○特別研究指定校150万円×6件程度。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.pef.or.jp/01_jissen/8_oubo_shinsei/

08_oubo_shinsei.html

〈募集期間〉 平成24年12月1日（土）～平成25年1月31日（木）17:00まで。結果発表は、平成25年3月中旬。

〈問い合わせ〉（公財）パナソニック教育財団
TEL 03-5521-6100

■ みんぱく映画会「みんぱくワールドシネマ」映像に描かれる〈包摂と自律〉

国立民族学博物館では、支援と絆をキーワードに標記映画上映会を開催する。

〈日時〉 平成24年12月9日（日）13:30～16:00
〈会場〉 国立民族学博物館講堂（大阪府吹田市千里万博公園10-1）

〈内容〉 研究者による解説付き上映会。作品は、「少年と自転車」（ベルギー・フランス・イタリア合作87分）。入場整理券を10:00から講堂入口にて配布。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.minpaku.ac.jp/>

〈問い合わせ先〉 国立民族学博物館広報企画室企画連携係 TEL 06-6878-8210（土日祝を除く9:00～17:00）

▶ブックレビュー



記録映画アーカイブ1 「岩波映画の 1億フレーム」

丹羽美之・吉見俊哉編
東京大学出版会発行
2012年6月発刊 360頁
7,770円(税込み)

第二次世界大戦後、わが国では、多数の記録映画が制作された。そのことが今日の視聴覚教育の発展にとって、すばらしい跳躍台を築いたことは忘れられない事実である。

しかし、今としてみると、そうした事実が確かなものとして認識されているのかさえも理解されていないように思われてならない。そのことをなんとなくわかっていても、具体的な事実として確認するところまでは、っていない場合も少なくはないだろう。

わたしたちが、視聴覚教育の今日的な意義を確認し、教育の仕事の中に、しっかりと位置づけることが、今日必要とされているように思われてな

らない。ひとつには、戦後の教育の流れの中で、次々と新しい機器が登場し、それを追うことが教育の近代化であり、教育の進歩であるかのような風潮が次第に広がってきているからである。

戦後の視聴覚教材の普及と活用の本旨は、どこにあったのかを今一度、振り返ってみることが大事だと思うこの頃である。その意味で、この出版物は重要であると思われる。

ここでは、戦後の教育映画界で重要な役割を果たした映画製作社である岩波映画製作所の作品八本を取りあげ、その企画・製作に携った人々の話が集められているのである。

第2部には、「開発」をテーマとして、佐久間ダム開発を取りあげ、その巨大プロジェクトをめぐる社会変化、それに関わりを持った人々の思いなどを考察している。

第3部は、岩波科学教育映画をめぐる、作品の底にあるねらい、制作の手法と子どもたちに寄せる期待を考察している。

こうして、本書は8本の映画ディスクを付けて、新しい形の著作物となっている。

(名古屋大学名誉教授 高桑康雄)

■ 国立国会図書館講演会「HathiTrustの挑戦: デジタル化資料の共有における『いま』と『これから』」

国立国会図書館では、今後の日本における図書館の提携によるデジタル化された知的資源の共有の在り方を考える標記講演会を開催する。

※HathiTrustは、2008年、米国の13の大学図書館で形成される機関協力委員会が始めた共同運営のデジタル化資料のリポジトリで、2012年9月時点で60以上の機関が加盟、約1,050万点(図書553万・雑誌27万タイトル)の登録資料を擁す。
〈日時〉平成24年12月18日(火)14:00～17:00
〈会場〉国立国会図書館東京本館新館講堂(東京都千代田区永田町1-10-1)

〈内容〉講演: ジョン・ウィルキン氏(HathiTrust事務局長、ミシガン大学図書館副館長)、ディスカッション。先着順、定員となり次第、受付終了。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.ndl.go.jp/jp/event/events/20121218lecture.html>

〈問い合わせ先〉国立国会図書館総務部支部図書館・協力課 協力係 TEL 03-3581-2331(代表) FAX 03-3508-2934 MAIL lecture@ndl.go.jp

研究会情報

■ 大学ICT推進協議会2012年度年次大会

情報通信技術を利用した教育、研究、経営等の高度化を図り、教育、学術研究、文化及び産業の発展に寄与するため、大学ICT推進協議会主催による標記年次大会が開催される。

〈日時〉平成24年12月17日(月)～19日(水) 9:00～17:00

〈会場〉神戸国際会議場(神戸市中央区港島中町6-9-1)

〈内容〉全体会、企画セッション(テーマは、情報教育、学術・教育コンテンツ共有流通、セキュリティ、図書館等)、一般セッション、企業セミナー、展示等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://axies.jp/ja/conf/2012/z8ymqr>

〈問い合わせ先〉九州大学情報システム部気付大学ICT推進協議会事務局 MAIL conf2012@axies.jp

■ 2012年映像情報メディア学会冬季大会

(一社)映像情報メディア学会では、映像情報技術の最新成果を持ち寄り、研究者、技術者が意見

交換を行う場として、標記大会を開催する。

〈日程〉平成24年12月18日(火)・19日(水)

〈会場〉東京理科大学森戸記念館(東京都新宿区神楽坂4-2-2)

〈内容〉特別企画「未来映像懇話会(企画中)」 「デモ作品発表:キネクト、スマートフォンアプリ、AR等、体感型アプリの世界」、「映像情報メディアの世界を支える企業の活動紹介」等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.ite.or.jp/data/event/new/>

〈問い合わせ先〉(一社)映像情報メディア学会冬季大会係 TEL 03-3432-4677

■ CIEC第97回研究会

コンピュータ利用教育学会(CIEC)では、「学校教育における韓国のICT活用の現状と課題—日本との比較において—」をテーマに、デジタル教科書時代に向けて、日本の課題を考える標記研究会を開催する。

〈日時〉平成25年1月5日(土)13:00～16:30

〈会場〉早稲田大学理工学部62号館大会議室(東京都新宿区大久保3-4-1)

〈内容〉講演、意見交換等。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.ciec.or.jp/ja/study/info_ciec97.html

〈問い合わせ先〉CIEC事務局

TEL 03-5307-1195

■ 日本教育メディア学会「学習科学と教育メディア研究の接点を探る」ワークショップ

日本教育メディア学会では、教育メディア研究の近接領域として、学習科学とのコラボレーションを考えた標記ワークショップを開催する。

〈日時〉平成25年1月26日(土)10:00～17:00

〈会場〉(株)内田洋行新川本社・新川第2オフィス(東京都中央区新川2-4-7)

〈内容〉セミナー、ワークショップ等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://jaems.jp/contents/kenkyukai/>

〈問い合わせ先〉日本教育メディア学会編集委員会 MAIL edit@jaems.jp

文部科学省選定作品

■10月選定 〔紙〕紙しばい／〔ビ〕ビデオ／〔D〕DVD

特選「正倉院一時を超えた世界の宝—【永遠の親子愛 豊かなる天平文化】〈中倉の宝物〉」〔D〕80分〈高等学校、芸術／青年・成人、教養・情操(美術)〉朝日放送(株)東京支社コンテンツ事業部

「たこちゃん たこちゃん」〔紙〕8枚〈幼稚園/幼児〉(株)童心社

「パンやさんにおつかい」〔紙〕12枚〈幼稚園・小学校(低学年)／幼児〉(株)童心社

「あらしのよるに ひみつのともだち⑦」、同「⑧」各〔D〕75分〈幼稚園・小学校(低・中学年)、国語／幼児・少年、教養・情操(童話・寓話)〉バンダイビジュアル(株)

「水はみんなの命」〔D〕18分〈中学校、社会・高等学校、地理歴史／少年・青年・成人、地域社会生活(自然保護・地域開発)〉(公財)肥後の水とみどりの愛護基金

放送番組

「ティーンズプロジェクト フレ☆フレ」

Eテレ(金)18:55～19:25 再放送(土)12:00～12:30※都合により番組内容変更有。

〈12月のテーマから〉

○「お魚スイーツに挑む!魚食系女子」、○「日本一の美牛を育てたい!乳牛クラブ」、○「太鼓一直線!熱血部長の挑戦」番組詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.nhk.or.jp/teens/index.html>

短信

■公益財団法人学習ソフトウェア情報研究センターは、平成24年11月1日より下記へ事務所を移転した。

〒105-0001東京都港区虎ノ門2-9-8郵政福祉虎ノ門第2ビル TEL 03-6205-4531

FAX 03-6205-4532

■社団法人日本教材備品協会は、平成24年11月19日から下記へ事務局を移転した。

〒105-0001東京都港区虎ノ門2-9-8郵政福祉虎ノ門第2ビル TEL 03-5501-4166

FAX 03-3502-7377

訃報

名古屋大学名誉教授、元財団法人日本視聴覚教育協会理事・現顧問、全国視聴覚教育連盟常任理事の高桑康雄氏が11月23日ご逝去された。享年83歳。